

保護者の皆様



令和6年3月21日 NO.6
東京都立多摩桜の丘学園
校長 丹野 哲也
発行 進路指導部

卒業・進級おめでとう

For the future 未来へ向けて 令和5年度進路だより最終号

小学部6年生と中学部3年生のみなさん、そして御家族の皆様、御卒業おめでとうございます。
また、各学部の在校生のみなさんは、それぞれ一つ上の学年に進級します。そのこともうれしいことですね。みなさんが多摩桜の丘学園に入学してからがんばったことがひとつひとつ積みあげられて、大きな「ピラミッド」の土台がしっかりと作られています。

先週15日(金)には高等部卒業式が行われ、3年生が社会へ巣立っていきました。

以下に**高等部の卒業生進路先**を御紹介します。

<福祉関係諸機関>

- 一般社団法人 Life is + laugh(アンドラフ)、+ laugh イナギ(アンドラフいなぎ)
- 一般社団法人ウイングワークス ウイング稲城長沼 Believe
- 一般社団法人 Seedling 障害者就労支援センターなえぎ
- 一般社団法人ソーシャルファームミレットロード 共に働くたまてばこ
- 特定非営利活動法人 E-SMILE 生活介護事業所 NICOTT
- 特定非営利活動法人 百々の木 生活介護事業所 みらい
- 特定非営利活動法人 ハーモニー 生活介護事業所 ハーモニー
- 特定非営利活動法人 どんぐりパン 空(きっちん空・すいーつ空)、どんぐりパン
- 特定非営利活動法人 なみき福祉会 工房みどりの風
- 特定非営利活動法人 プラナス プラナスクリエイティブセンター
- 特定非営利活動法人 暉望 色えんぴつの家、グループ TOMO
- 特定非営利活動法人 ちいろば ちいろばの家
- NPO 法人 Monolith 就労継続支援 B 型事業所 Work_With_モノリス
- 社会福祉法人 みずき福祉会 八王子市障害者療育センター
- 社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会 花の郷
- 社会福祉法人 啓光福祉会 なかまの樹
- 社会福祉法人 正夢の会 コラボたまワークセンターつくし
- 社会福祉法人 日本心身障害児協会 島田療育センター病棟
- 社会福祉法人 由木かたくりの会 由木工房
- 社会福祉法人 にじの会 ワークショップハーモニー
- 労働者協同組合 ワーカーズコープ・センター事業団 就労継続支援 B 型事業所 たちかわーく
- 就労移行支援事業所 プラーナ
- 就労移行支援事業所 ラコンテ柿生
- 株式会社 ゆたかカレッジ ゆたかカレッジ立川キャンパス

<企業>

- 社会福祉法人 大和会 愛生苑
- 株式会社 三和
- 株式会社 キューピーあい
- オリジン東秀株式会社 キッチンオリジン

<進学 職業訓練・学習支援機関>

- 東京障害者職業能力開発校
- 特定非営利活動法人 地域ケアさぼーと研究所 訪問カレッジ@ 希林館



※ I・II 部門合わせて表記しています。個人の進路先は公表いたしません。

小学部ってすごい！

……2月の、とある日、II部門小学部の一入入学の時のことです。お昼を過ぎたころから、今度入学してくるお子さんと保護者の方が次々といらっしゃいました。親御さんと少しの時間離れることが怖く、大きな声で泣いている子。広い学校のいろんな場所を探検したい子。ピカピカ光る廊下に寝転がる子。などなど、かわいい騒ぎがあちこちで起きています。でも保護者の方は面談をしなくてはなりません。我が子様子を気にしながらも、説明を聞いたり、書類を書いたり…もうたいへん、汗だくです。その様子を見て「もう少しですよ。安心して下さいね。」と声をかけたくなりました。なぜかというところ……(*^-^*)

入学してから10か月を過ぎた今の1年生たちを見て下さい。もう先生とお友達と一緒に並んで、廊下を静かに歩いています。すれ違う人にあいさつをして、係の仕事をしている子もいます。上級生たちは給食のワゴン片づけたり、出席簿を届けたり、大きなごみ箱を運んだり、と大活躍です。

I部門のお子さんたちもそうです。「みんなと一緒にやるってこんなに楽しんだ！」とばかりに、うれしそうな声が響いてきます。教員手作りの工夫を凝らした教材に目を輝かせ、そこから響く音を聴こうとしています。手に取り「今度は自分でやってみたい！」という気持ちを表現しています。それこそが成長。「好きなことを見つけ、そのことを伝える。やってみる。」というしっかりとした人生の「土台」を作る6年間です。



中学部ってかっこいい！

……それぞれ個人差はありますが、身体も大きくなり心も変化していきます。親御さんの悩みも多くなる時期でしょう。その中には将来の進路のことも含まれていますね。中学部は、両部門とも進路指導に関心を寄せられる保護者の方が多く、見学会や学習会へたくさん御参加いただきました。

生徒たちもそうです。I部門の中学生は高等部の先輩の様子をよく見えています。一緒に学習や活動をする場面もあり、いつも良い刺激を受けてきました。(実は、まじめな中学生を前に高校生はちょっと焦っていたかも……)

II部門の中学生は高等部の作業学習見学や先輩の話を聞いて、期待をもって進学します。

そして、両中学部の教員は、目まぐるしく変化し成長著しい生徒に合わせた教材を次々準備し、年齢相応の授業を展開しています。そのねらいは、小学部で作る土台を基に、その次の力を育てることであり、高等部の更にその先を考えているのです。

「進路指導は高等部だけで行うものではない」と、常々お伝えしてきました。小学部、中学部で学んだことはこれからの人生に不可欠なことばかり。どっしりとしたピラミッドの土台です。

にぶもんちゅうがくぶ ねんせい

II部門中学部3年生のみなさんへ



これまでいっしょに学んできた仲間ですが、4月からほかの学校の高等部へ行く人もいます。

たくさんの思い出を作ってきた友だちとこれからもなかよくしていきましょう。高等部では、どの学校でも就労体験

や現場実習があります。いつか同じところで実習をし、将来はいっしょにはたらくかもしれません。その時はおた

がいはげましあって、楽しく仕事や活動をしましょう。

たまさくら おかがくえん

多摩桜の丘学園ですごした時間はかけがえのない宝物です。その一つ一つを大切にして、素晴らしい

高校生活を送ってください。

保護者の皆様、長い間御協力ありがとうございました。地域は一緒です。これからもよろしく願いいたします。



(進路指導主任 池永満寿美)